

# 日本文学専攻

Graduate School of Humanities / Major in Japanese Literature

募集人員：修士課程 20名／博士後期課程 2名 | 開講形態：**昼夜**開講 | キャンパス：市ヶ谷  
主な進路：学術・教育関連（教員）、出版編集など

## 日本文学を中心に、豊かな教養と高度な研究能力を修得。

古代から現代までの各時代の文学・言語・芸能に関する科目を中心に学びます。また、文芸批評・中国文学・沖縄文学・国語教育などの関連科目を幅広く配置しています。

2011年度より「文芸創作研究プログラム」を新設。実際に創作を行い、その作品を修士論文の代替として提出できます。プログラムでは、文芸作品が社会で評価されるまでの仕組みを「社会と表現」「編集理論」などの講座で学習。また、「文芸創作研究」「作家特殊研究」などの講座では文芸創作そのものについて学んでいきます。

このほか、能楽研究所と連携した「能楽研究者育成プログラム」では、能楽に関する最高水準の大学院教育で展開しています。

また、国際日本学インスティテュートとの合同科目を多く開設し、外国人留学生と学ぶ場が多いのも本専攻の特徴です。

本専攻では、研究者や教員、学芸員、文芸創作に関わる専門家、専門能力をさまざまな分野で生かせる社会人の育成を幅広く行っています。

### アドミッション・ポリシー

(学生の受け入れ方針)

修士課程では、教育課程に必要な適切な学力、論理的思考力、柔軟かつ斬新な発想や表現力を持つ学生を受け入れる。入学試験においては、一般入試のほか、外国人入試・社会人入試を実施し、多様な学生を積極的に受け入れる。また、博士後期課程では、教育課程に必要な高度な学力や研究成果を論理的にまとめ上げる能力、学術の発展に寄与する独創的な能力を持つ学生を受け入れる。

### カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

古代から現代に至る各時代の文学・言語・芸能に関わる科目のほか、沖縄文芸、中国文学、国語教育などの科目を設置する。また、「能楽研究者育成プログラム」「文芸創作研究プログラム」を修士課程に開設し、能楽研究および文芸創作、アートマネジメント、編集・出版などに関する専門的な科目群を設置する。併せて国際日本学インスティテュートとの連携を深め、学際的・国際的な教育を展開する。

### ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

修士の学位授与に当たっては、日本の文学・言語・文芸の歴史と現状に関わる基本的な研究・創造の能力を身に付けるとともに、修士論文の提出を求める（「文芸創作研究プログラム」では、修士論文に代わる「文芸創作」「研究副論文」の提出を認める）。博士の学位授与に当たっては、高度で専門的な研究能力を身に付け、学術の発展に貢献できる水準に達した博士論文を提出することを求める。

## 研究室紹介

江戸の人びとはどのように文芸を楽しんだのかー  
多くの人が惹きつけられて創作に参加した狂歌や川柳、戯作などの秘訣に迫る

小林教授 | 狂歌や戯作を中心とする江戸文芸とそのさまざまな作者たちの多様な文事についての研究

18世紀のなかば以降、江戸で文化が栄えるようになった時代の文芸を研究しています。浮世絵が栄えた時代でもあり、絵入り本や挿絵と作品を載せた一枚摺りといった魅力的な出版物が多く出されました。文芸は特権的作家のものではなく、多くの人が俳諧や川柳、狂歌を通して創作を手掛け、それを通じて交流の輪が広がります。それは散文諸ジャンルにも広がり、またそんな文芸の楽しみ方が都市から地方へと展開を見せていきます。そんな時代、私たち現代人と似ているようで意外な発想を持ち合わせた彼ら江戸の人びとがどのように文芸を楽しんだのか、その諸相を探っています。

※本専攻には、このほかに文学や言語、芸能などの分野を扱う、全部で16の研究室があります。



## Voice



修士課程 在学中  
前田 徳子

学部では得られない専門的な知識を獲得し、  
創作に対する向き合い方も変わりました

### 私の研究

専攻は文芸創作プログラムというコースで、小説をはじめとした文芸創作に取り組んでいます。大学院という環境の中では求められるレベルも高いものとなっているため、院生同士の講評でもかなり厳しい意見もいただきます。しかし、講評の中で指摘された点を自分なりに解決していくことが次の作品へのモチベーションにもつながり、良い創作空間を作っているように感じます。

### 学んだこと、身に付いたこと

やはり学部では深く触れることのできなかった専門的な知識を得られたことです。創作専攻ではありますが、近現代文学や沖縄文学の講義を受けられたのは良い経験となっています。現代につながる日本文学というものの理解を深め、今の自分の創作に対する向き合い方も変わったように感じます。また、研究会や学会へ参加できる機会もあり、そこから学べることも多いと感じます。

【研究テーマ】  
文芸創作、および文学とアートマネジメントの関係

## 専任教員と担当科目 (2016年度) ※年度により授業を持たない場合があります。 専 専門領域 研 研究テーマ 担 担当科目

坂本 勝 教授 専 古代文学(前期)  
研 「古事記」「万葉集」を中心とする上代文学研究  
担 日本文芸特殊研究Ⅰ A・B 日本古代文芸原典研究 A・B

加藤 昌嘉 教授 専 古代文学(後期)  
研 平安時代の物語(『源氏物語』など)  
担 日本古代文芸演習 A・B

阿部 真弓 教授 専 中世文学  
研 日記文学、物語、和歌  
担 日本中世文芸原典研究 A・B

小秋元 段 教授 専 中世文学  
研 軍記物語、史論、説話、お伽草子、近世初期出版文化  
担 日本文芸特殊研究Ⅱ A・B 日本文学・国際日本学基礎演習

山中 玲子 教授 専 能楽研究  
研 能の作品研究・演出研究、能の所作研究  
担 能楽作品研究 A・B 現代能楽論

宮本 圭造 教授 専 芸能史  
研 能の歴史研究、中世芸能史  
担 能楽資料研究 A・B

伊海 孝充 准教授 専 中世文学(特に能楽)  
研 古典演劇の能研究(能の作品研究・謡本研究)  
担 日本中世文芸演習 A・B

スティーヴン・ネルソン 教授 専 日本音楽史学  
研 雅楽・仏教音楽・平家語り、古典文学作品と音楽  
担 日本文芸特講Ⅰ A・B(文芸と音楽) 日本文芸特殊研究Ⅳ A・B

小林 ふみ子 教授 専 近世文芸  
研 大田南畝・江戸狂歌を中心とする近世中期文学・文化研究  
担 ※今年度は、特定の科目を担当しません

黒田 真美子 教授 専 中国古典文学  
研 主に六朝・唐代における詩と小説研究  
担 中国文学 A・B

中丸 宣明 教授 専 近・現代文学  
研 明治・大正の作家・作品研究  
担 日本近代文芸原典研究 A・B

藤村 耕治 教授 専 近・現代文学  
研 昭和以降の文学、特に戦後文学およびその継承者による現代文学の作家・作品研究  
担 日本近代文芸演習Ⅰ A・B

田中 和生 教授 専 近・現代文学、文芸批評  
研 日本の近代文学の特質を明らかにすること、そこから現代文学の条件を考えること  
担 日本文芸批評史 A・B

中沢 けい 教授 専 文芸創作  
研 小説、評論、随筆の執筆  
担 日本文芸特講Ⅱ A・B(アートマネジメント研究)

間宮 厚司 教授 専 日本古典語学  
研 「万葉集」や「おもしろさうし」などの語学的研究  
担 日本言語学原典研究 A・B

尾谷 昌則 教授 専 言語学  
研 認知言語学から見た意味拡張、文法化、構文ネットワーク  
担 日本言語学演習 A・B

## 設置科目 (2016年度) ※開講科目は年度により異なります。( )内は単位数

<p>&lt;修士課程&gt; 日本文芸学 A・B(各2) 日本文芸批評史 A・B(各2) 日本古代文芸原典研究 A・B(各2) 日本古代文芸演習 A・B(各2) 日本古代文芸特講 A・B(各2) 日本中世文芸原典研究 A・B(各2) 日本中世文芸演習 A・B(各2) 日本近世文芸原典研究 A・B(各2) 日本近世文芸演習 A・B(各2) 日本近代文芸原典研究 A・B(各2) 日本近代文芸演習Ⅰ A・B/Ⅱ A・B(各2) 日本語学原典研究 A・B(各2) 日本語学演習 A・B(各2) 日本語学特講 A・B(各2) 沖縄文芸史 A・B(各2) 中国文学 A・B(各2) 日本文芸特講Ⅰ A・B(文芸と音楽)(各2) 日本文芸特講Ⅱ A・B(アートマネジメント研究)(各2) 国語と文芸教育法 A・B(各2) 女性文学 A・B(各2) 文芸と視覚芸術 A・B(各2) 学際的文学論 (文学の境界領域、文学と宗教等) A・B(各2)</p>	<p>文学と風土 A・B(各2) 能楽作品研究 A・B(各2) 能楽資料研究 A・B(各2) 現代能楽論(2) 日本語・日本文学の基礎 A・B(各2) 表現と社会(2) 歴史と文学論 A・B(各2) 編集理論(2) 作家特殊研究 A・B(各2) 文芸創作研究 A・B(各2) 日本文芸特殊研究 Ⅰ A・B/Ⅱ A・B/Ⅲ A・B/Ⅳ A・B(各2) 日本文学・国際日本学基礎演習(2) 日本文学・国際日本学論文作成基礎演習(2)</p>
---	--

<p>&lt;博士後期課程&gt; 日本文学特殊講義 A・B 日本文学特講演習 A・B 日本文学特殊研究 A・B 日本文学特殊演習 A・B 近代文学特殊講義 A・B 近代文学特講演習 A・B 能楽論 A・B 日本語学特殊講義 A・B</p>
--

## 修士生の研究テーマ

- 現「伊勢物語」本文形成過程
- 古活字本「保元物語」本文考
- 「方丈記」の文末表現研究
- 世阿弥作夢幻能における脇役の工夫
- 澁澤龍彦後期小説論
- 視覚表現(漫画)と文章表現(小説)の違い
- カタカナ表記語の語用論的特徴